



本誌は、学校経営・運営ビジョンの実施状況や達成結果を保護者や関係者の方に公表することを目的とした、学校が発行する通信誌です。

学校評価アンケート集計結果報告

保護者の皆様には、昨年11月に実施しました「平成28年度学校評価アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今回は保護者・生徒・教員アンケートの集計結果の要点をご報告いたします。なお、本誌裏面には保護者・生徒・教員対象アンケートの集計表も掲載しましたので、あわせてご覧ください。

1 保護者対象アンケート結果の分析

年度末の全体概況及び前年度との比較

全体平均値は3.1であり、前年度より0.1ポイント増加した。昨年度は、最高値3.4～最低値2.7であったが、今年度は最高値3.3～最低値2.8と、最高値と最低値の差が減少し、アンケート全20項目が概ね良好であったと分析できる。

各項目の概況及び前年度との比較

前年度末の保護者アンケートでは、評価3.0を超える項目は17項目であったが、今年度は18項目に増加した。新たに増加した項目は、項目「19」である。区分「信頼される学校」に関するアンケート項目でポイントが増加したことは喜ばしい限りであり、本校の教育活動が徐々に評価されつつあると考える。一方、昨年度よりポイントが減少した項目は、項目「7」である。本校の特色というべき区分「国際性・心豊かな人間性」に関するアンケート項目でポイントが減少したことは残念であるが、評価3.3は全アンケート項目中最高値でもあった。また、項目「8」は全体の最低値であったが、昨年度より0.1ポイント増加したこともあり、本校図書部の活動が理解されつつあると思われる。項目「11 学習と部活動の両立のための配慮がなされ、生徒に十分な指導が行われている。」は項目「8」と同じく評価3.0を下回った項目であり、早急に対策を講じなければならない。今後は保護者からの意見を真摯に受け止め、改善を図っていききたい。

2 生徒対象アンケート結果の分析

年度末の全体概況及び前年度との比較

全体平均値は2.8であり、前年度と同数値であった。各項目では全20項目中6項目の数値が前年度より上昇しており、数値が下降した項目は1項目であった。生徒にとっては学校や教員の目標設定の意図が伝わりにくいため、日頃から目標や目標値を明確にし、取り組んでいる。

各項目の概況及び前年度との比較

前年度末の生徒アンケートでは、評価3.0を超える項目は3項目であったが、今年度は5項目に増加した。新たに評価が3.0を超えた項目は、項目「14」「15」である。とりわけ、項目「15」のポイントが上昇したのは、各種検定資格の合格者が増加している点などが評価に繋がったものと推測される。なお、一番評価の高かった項目は、項目「7」で、昨年度と同じであった。国際科学科としての特色を教育活動に十分に活かすことができたものと判断される。一方、一番評価の低かった項目は、項目「8」で、昨年度も最低値だったことから、今後の課題である。また、生徒の意見を取り入れるなど評価を得るための工夫が必要である。次年度は今年度の評価を維持できるよう、精進していききたい。

3 教員対象アンケート結果の分析

年度末の全体概況及び中間、前年度との比較

年度末の全体平均値は前年度と同じ3.0であった。今年度中間の数値より0.1ポイント減少ではあるが、概ね良好な評価と判断できる。個々の項目については、今後も反省・分析を継続していききたい。

各項目の概況及び前年度との比較

アンケート20項目のうち、昨年度より評価の上がった項目は9項目、下がった項目は7項目、変わらなかった項目は4項目であった。一番評価の高かった項目は項目「7」で、対前年度比+0.2の評価3.4である。国際科学科として本校の特色を最大限に活かせるよう国際部を中心に取り組んだ結果、教職員間の共通理解が深まったものと分析できる。一方、一番評価の低かった項目は項目「17」で、対前年度比-0.2の評価2.7である。ホームページの積極的な更新などに取り組んできたが、評価が下がった要因について分析・再検討の必要性があると思われる。また、昨年度より評価の減少した項目についても、全職員に周知徹底し、改善を図っていききたい。

*なお、アンケートに際し、保護者の皆様、生徒からよりよい学校づくりのための様々なご意見をいただきました。今後とも貴重なご意見を真摯に受け止め次年度以降の学校づくりや生徒指導に活かしていくとともに、より充実した学校評価活動を行って参りたいと存じます。